

令和6年 湖西市議会6月定例会

市長あいさつ

令和6年6月4日

おはようございます。

本日から、令和6年6月湖西市議会定例会が開催されるにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

（浜名湖花博・舟運）

初夏を迎え、湖西連峰の山々が新緑に包まれ、浜名湖も明るい陽射しにきらめく、良い季節となりました。3月から始まった「浜名湖花博2024」も、6月2日に浜名湖ガーデンパーク会場では閉幕式が開催されました。当市でも、4月27日には「湖（うみ）の見える Marche」を海湖館で、5月19日には「こさい春の緑花フェア」も新居弁天海釣公園で初開催しました。

中でも新たな観光の掘り起こしとして、海湖館や浜名港を花博会場と舟で結ぶ「舟運」は、期間中1,147名の方にご利用いただき、波も穏やかで、新幹線も頭上を通過するなど、大変好評であったと聞いております。花博閉幕後も継続してルートを考えながら水路めぐりなどを実施する予定で、引き続き浜名湖の魅力を伝えていけるよう進めていきます。

また3月にグランドオープンした「浜名湖パークビレッジ」では、オートキャンプのほかドッグランを利用されるペット連れなど市内外から多くの方が訪れ、近隣でも再開発が進むなど、新たな賑わいが生まれつつあります。新居弁天地域が観光・地域経済活性化の拠点となり、環浜名湖地域が一体となって観光・産業振興の取組を進めてまいります。

（こさいの日・こさい月間）

早いもので、市制50周年を契機に5月31日を「こさいの日」を宣言してから、2年が経ちました。今年も「湖西市表彰」を行い、地方自治・社会福祉などの各分野で湖西市の発展にご尽力された皆様、また湖西市の発展のため1億円の寄付申し出をいただいた、故 見山行雄様と、合わせて5名の皆様に表彰させていただきました。改めて、皆様のご功労に心からお礼を申し上げます。また昨年は市内モノづくり企業において中学生の皆さんへの特別授業を実施いただきましたが、今年は、市内の全小中学校の児童・生徒に向け、市の発展を支えている「モノづくり」に触れ、学んでいただくことで、湖西市に愛着と誇りを持っていただけるよう、私からメッセージを贈らせていただきました。佐吉翁の「障子を開けてみよ、外は広いぞ」の言葉のように、児童・生徒の皆さんが何事にも果敢にチャレンジし、新しいモノを創りだし、世の中や誰かの役に立つ喜びを持っていただくきっかけになればと思っております。

更に、市内の幼稚園、こども園において、うなぽんの誕生日会を行って頂きました。公募で決定したテーマソング「にじをみにいこう」を、園児の皆さんたちに楽しく、歌って踊って、お披露目いただきました。翌日の新居図書館100歳のお誕生日会、また翌々日の浜名湖花博2024湖西市ステージでは、湖西市ふるさと大使である STARMARIE の皆さん

にお披露目頂き、YouTube の再生回数も伸びていると動画編集者のケーブルテレビ・ウィンディさんからも聞いています。関係者の皆様、大変ありがとうございました。

また、今年は5月24日から6月2日を、「こさいの日キャンペーン期間」とし、市内の協賛店舗で利用できる電子チケットを公式LINEで配布させていただきました。チケットを提示することで割引やサービスを受けられるキャンペーンを、市内41事業者の皆様の協力を得て実施させていただいております。

（「職住近接」新規事業等について）

さて、本年度も2か月が経ちました。「職住近接」を推進し持続可能な湖西市の発展に向け、新たに始まった事業、これから予定している事業等につきまして、いくつかご説明させていただきます。

〔① 安心安全・医療・福祉〕

（医療・健康）

市民の皆様誰もが健やかで心豊かに暮らすことができるよう、「健康こさい21」を3月に策定しました。健康づくりと食育を一体的に推進することにより、一人ひとりのQOL（生活の質）向上につながる健康政策を積極的に推進していきます。

また、休日や夜間においても安心して医療を受けられる体制を整備するため、「Medi-Net こさい」をとおして、市内医療機関における役割分担・機能分化の明確化や医療従事者の人事交流等について検討を進め、引き続き持続可能な医療提供体制の確保に努めてまいります。

（福祉・介護、公共交通）

高齢者福祉の面では、社会的孤立防止と認知症発症の抑制を図るため、軽度難聴のため補聴器が必要な高齢者の方へ、補聴器購入費の一部を助成する制度を新設しました。

また、高齢者のバス・タクシー利用料の助成について、より多くの方にご利用いただくため、今年度から乗車券の配布方法をプッシュ型に変更し、3月末までに配布を完了しております。買い物や通院などにぜひご利用ください。

他方、地域における高齢者をはじめとする交通弱者の通院・買い物などの日常生活の移動手段の確保は、年々難しくなっています。全国でも新たな持続可能な移動手段として「ライドシェア」実現に向けた規制緩和が進んでおり、当市としても、昨年度から、交通事業者との「共存共栄」を原則として、浜松市・磐田市及び運行事業者の4者で持続可能な公共交通の勉強会を進めてまいりました。そして、5月には、本市と交通事業者、豊橋技科大学が連携した国土交通省の「共創モデル実証運行事業」採択が決定しましたので、今後は、実証運行に向け、データ収集、運行実態やニーズの分析、導入による効果予測などを実施し「自治体ライドシェア」を実現に向け進めていきます。

（防災）

防災の面としては、今年も３月１１日に、東日本大震災を教訓とし津波からの避難を想定した夜間防災訓練が市内各所で実施されました。今回、住吉西自主防災会と連携・協力し、スマホで避難時間や避難速度などを測定し、地区の避難計画の見直しや防災活動に活用するため、デジタル技術を導入した津波避難訓練を初めて実施させていただきました。

また、３月末には、最大クラスの津波から人命、財産、経済活動を守るため、津波防災地域づくりを着実に進めていくための「湖西市津波防災地域づくり推進計画」を策定しました。今後は、地域の安全・安心のレベルの向上をはかるとともに、レベル２津波に対する防潮堤整備の可能性について、総合的な視点により引き続き検討していきます。

元日の能登半島地震をはじめ、各地で災害が頻発しています。改めて自分たちで出来る防災対策や備えをお願いいたします。

〔② 子育て・教育の充実〕

４月から、子育て・教育の充実に関する新たな支援もいくつか始まりました。

まず、特定不妊治療・男性不妊治療を受けているご夫婦に対して、医療保険が適用されない部分について１回あたり上限１０万円の助成を受けられるようになりました。これにより、高度な治療も選択しやすくなることを期待しています。

また、体調が不安定になりやすい、産後直後に多くなる授乳等のトラブルに関する悩みや不安を、身近な湖西病院の助産師外来や在宅助産師の訪問等で気軽に相談ができる利用券を配布する「授乳等相談事業」を開始しましたので、こちらもぜひご活用いただきたいと思います。

さらに、第３子以降が中学・高校に入学する際に、制服やタブレット端末ほか学用品購入等の初期負担を軽減するため、「多子世帯修学費用支援」の制度を設け、５月１日から受付を開始しています。保護者の経済的負担を軽減することで、少子化の要因となる不安要素を少しでも解消していきたいと考えています。

また、いじめの早期発見・防止、解決に向け、こども未来部に「いじめ防止対策準備室」を新設しました。こども家庭庁の「学校外からのアプローチによるいじめ解消の仕組みづくりに向けた手法の開発・実証事業」に採択を頂き、秋からの本格稼働に向け、いじめ防止啓発イベントや地域いじめ防止リーダーの養成、いじめ通報が日常的に可能となる健康観察ツールの導入など、戦略的いじめ防止対策を展開していきます。また、こどもとの関わりや相談対応の経験が豊富な人材に、いじめに関する専門的な研修を受講していただき、相談介入支援の専門員を育成していきます。

〔③ 産業の振興〕

（スタートアップ）

地域の課題解決や、市民サービス向上を目的に実証実験を実施する中小企業者などへ、その経費の一部を補助する「湖西市スタートアップ等創業支援補助金」を拡充しました。

これまでの空き店舗等利活用出店事業や、クラウドファンディングを活用した創業への支援に加えて、独自の技術やアイデアを活用したプロジェクトを全国から公募する「実証実験サポート事業」や、市が抱える課題に事業者から提案をいただく「みらいのこさい提案制度」に採択された実証実験についてその経費を支援するメニューを新たに追加しました。佐吉の郷における創業支援を、更に進めていけたらと考えています。

（空家対策・土地利活用）

さて、適切に管理が行われていない空家がもたらす問題に対応するため、活用の拡大、管理の確保、特定空家の除却等をふまえ、「湖西市空家等対策計画」の見直しを現在行っております。空家バンクについては、360度カメラを利用しオンライン内覧ができるよう準備を行っており、今年度内には空家の状況を把握し、管理用の電子台帳導入も予定しております。

土地利活用の一体的推進に向けては、民間の宅地開発促進が、市内で3か所41区画進んでいることに加え、新たに10月から賃貸住宅の建築促進のための奨励金制度創設を、現在準備しています。隣接自治体から多くの方が湖西市内に働きにいられている中、特に子育て世帯向けの賃貸住宅建築を促進することで、移住・定住、流出抑制に繋げていきたいと考えています。

〔④ 交流〕

（こさい首都圏交流会）

首都圏で活躍する湖西市出身や湖西市にゆかりがある方々と、互いの交流を深め市の魅力発信の一端を担っていただくために、「こさい首都圏交流会」を6月11日に東京日比谷で初めて開催します。湖西市出身者・勤務経験者、ふるさと大使、湖西市に興味をもってくださいの企業のほか、豊田佐吉翁記念奨学生OBOGなど多くの方々に参加して頂ける予定と聞いております。交流会を通じ、湖西市の魅力を伝えていくことで一層の関係・交流人口創出を図り、市の知名度を上げ、移住定住や企業版ふるさと納税の活性化などに繋げていきたいと考えています。

（ペアーズ婚活支援、少子化対策）

人と人との交流、新たなつながりを築いていくという意味では、少子化の原因の一つである未婚・晩婚を解消していくため、時代に沿った支援策として、マッチングアプリ「ペアーズ」を活用した結婚支援事業を実施します。湖西市に住み、働き、結婚を希望している男女に、出逢いの機会を創出し、結婚へと後押しすることで、将来の定住へ繋がることを期待しています。

〔横断的な施策 モノづくり、カーボンニュートラル・ＤＸ〕

（環境・バイオマス発電）

湖西市の中長期的での、持続可能な発展のためには、湖西市の産業の柱である「モノづくり」を将来に亘り継続発展させていくことが重要であり、モノづくり推進室のインスタ発信はじめ企業との連携体制の充実による、人材育成・産業ネットワーク推進や、カーボンニュートラルに向けた新たな取組も始まっています。

2050 年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指していくため、3月に「湖西市地球温暖化対策実行計画」を策定しました。家庭や事業所等における省エネルギーの促進や再生可能エネルギーの普及を図り、オール湖西による脱炭素型社会の形成に向けた、地球温暖化に対する意識啓発を行うなど、市民の皆さまや事業者、行政の各主体が温室効果ガス排出量の削減に取り組み、地球温暖化対策を進めていきます。4月からは環境部に脱炭素推進室を設置し、推進体制の一層の強化を図っています。

更に取組の一つとして、下水道汚泥を活用したバイオガス発電の可能性を検討していきます。4月19日には、豊橋バイオマスソリューションズ及び豊橋技術科学大学と、小規模処理場に向けた高効率な発電システムを構築していくための「基本合意書」を締結しました。これから3者が連携し、産学官共同による次世代型メタン発酵システムの実証実験、実装を目指して取り組んでまいります。

（ＤＸ推進）

市役所に来庁される方々の利便性向上に向け、ＤＸを活用した「書かない窓口」に向けた業務改善の取り組みを進めています。職員が来庁した市民に扮し「窓口体験調査」を実施することで、普段の業務では気づきにくい窓口事務の課題を洗い出しました。何度も同じことを書いたりするムダや、案内モレといった人的ミスが起こらないよう、そして受付事務が迅速に行われるようデジタル技術を活用し改善してまいります。

また庁内では、ペーパーレス化やスペースの有効活用を進めていくため、電子決裁の導入やフリーアドレス化に向けた試行の準備を進めています。行政事務コストの削減へ、デジタル化への取組を積極的に進めていきます。

（新庁舎等公共施設の再編）

さて、老朽化の著しい市役所については、市民の皆様の意見や意向を把握していくため、引き続き基本計画策定に向けたワークショップを実施していきます。24名の皆様から参加への応募を頂きました。新庁舎の建設地や必要となる機能・規模などについて前向き現実的に話し合い、一緒に考えていくことで、皆様が利用しやすい庁舎となるよう努めてまいります。それ以外にも、現在進行形の消防防災センター、新居地域センター、給食センターや湖西病院、賑わい複合施設、各学校・園と、公共施設の再編・複合化も、計画

に則って着実に進めていきます。

(結び)

結びに、繰り返しになりますが、うなぼんソングの歌詞にもありましたが、こさいのことを、現場に即して勉強を続け、引き続き全力投球で湖西市の職住近接の推進に向けた政策を推進していきたいと思います。

さて、本定例会に提案させていただきます案件は、補正予算など合計 12 件です。皆様方におかれましては、引き続き、建設的かつ前向きなご提案やご議論をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

以 上